

環境調査結果のお知らせ

平成31年4月25日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温18～20℃、塩分31～35、溶存酸素量7～8mg/lでした。
透明度は2～6mで、有害種のケラチウムが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の環境は、水温17.9～19.6℃、塩分30.7～34.7でした。前回調査時(H31.3.7)と比較して、水温は全層で1.4～2.1℃上昇しました。塩分は全層で0.2～2.2下降しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量7.3～8.0mg/lでした。

前回調査時(H31.3.7)と比較して、表層から2m層で0.1～0.3mg/l減少し、5m層で0.1mg/l増加しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は2.0～6.0mでした。

検鏡の結果、有害種のケラチウム属が最高で11cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

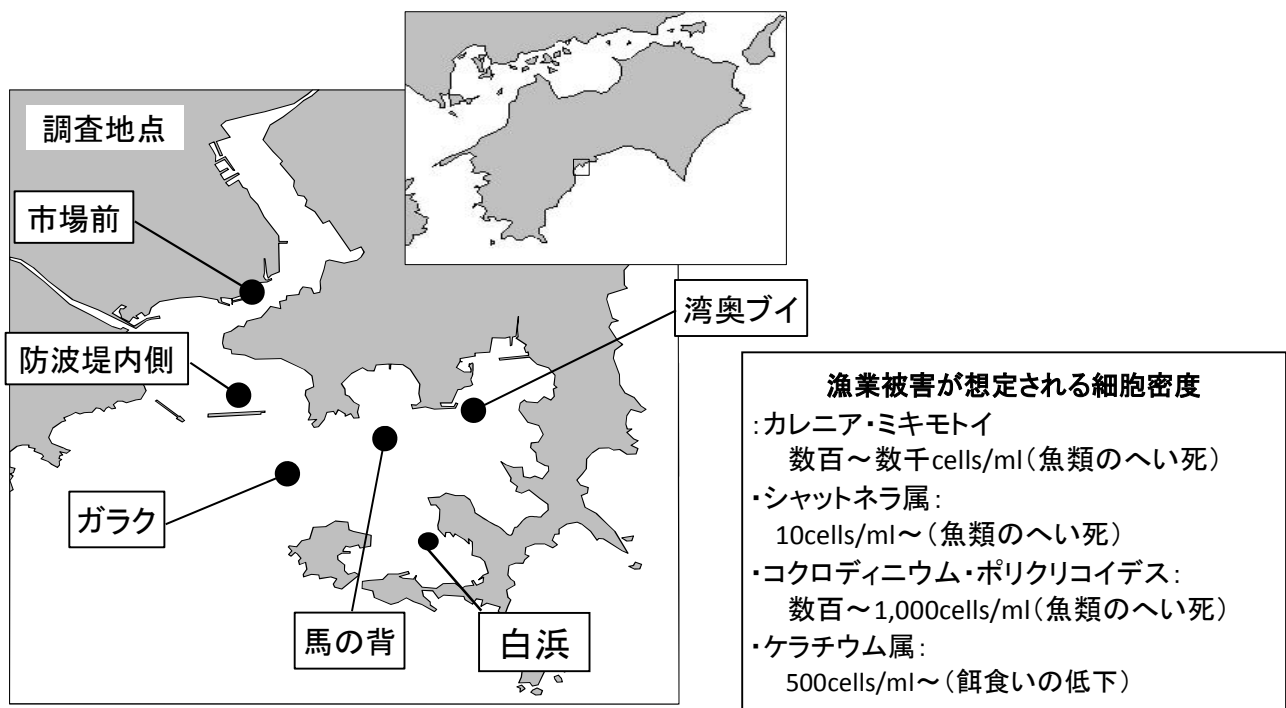


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H31.2.18)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	19.2	19.6	19.4	19.1	19.4	17.3	2.1	19.2
2m	19.3	19.2	19.1	19.1	19.2	17.3	1.9	19.1
5m	19.2	19.2	19.1	19.1	19.2	17.3	1.9	19.0
10m	19.1	19.0	19.0	18.9	19.1	17.3	1.8	0.0
B-1m	18.9	17.9	19.0	18.6	18.6	17.2	1.4	18.8

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H31.2.18)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	32.7	32.7	31.8	30.7	32.4	34.6	▲ 2.2	23.0
2m	33.3	33.8	34.0	33.9	33.7	34.7	▲ 1.0	33.6
5m	34.3	34.1	34.2	34.2	34.2	34.7	▲ 0.5	34.1
10m	34.4	34.4	34.3	34.4	34.4	34.7	▲ 0.3	0.0
B-1m	34.5	34.7	34.4	34.5	34.5	34.7	▲ 0.2	34.4

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H31.2.18)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	7.8	7.5	7.8	8.0	7.7	8.0	▲ 0.3	8.2
2m	7.8	7.5	7.6	7.9	7.6	7.7	▲ 0.1	7.7
5m	7.8	7.7	7.5	7.8	7.7	7.6	0.1	7.6
10m	7.5	7.4	7.4	7.8	7.5	7.5	0.0	0.0
B-1m	7.3	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	0.0	7.4

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.4	24.9	15.3	16.5	11.8
透明度	4.5	6.0	6.0	2.0	1.0
前回(2/18)	8.0	9.5	5.0	3.0	8.0

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモイ	シャットネラ属	ココロディニウム・ ポリクリコイデス	ケラチウム属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	0	0	0
	2m	0	0	0	0	5
	5m	0	0	0	11	30
馬の背	0m	0	0	0	0	25
	2m	0	0	0	0	45
	5m	0	0	0	0	15
ガラク	0m	0	0	0	0	15
	2m	0	0	0	0	20
	5m	0	0	0	0	0
津波防波堤内側	0m	0	0	0	2	45
	2m	0	0	0	3	40
	5m	0	0	0	4	100
市場前	0m	0	0	0	3	15
	2m	0	0	0	7	35
	5m	0	0	0	2	15
白浜	0m	0	0	0	0	5
	2m	0	0	0	0	2
	5m	0	0	0	3	10